



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。



ノンVOC(Volatile Organic Compounds)インキ
大豆油インキの比率をほぼ100%に高めたもの。
大気中への有機化合物の揮発はほとんどあり
ません。



FSC® 認証用紙
この印刷物には、FSC® 認証用紙が使用されて
います。



Waterless
印刷時に有害な廃液がでない「水無し印刷」で
印刷しています。

 **フジトランス コーポレーション**

2021年6月発行

本社
〒455-0032 愛知県名古屋港区入船一丁目7番41号
TEL:052-653-3111(代) FAX:052-652-7110
<https://www.fujitrans.co.jp/>

 **FUJITRANS**

Social
Action

Safety
Management

CSRレポート
FUJITRANS CORPORATION CSR REPORT 2021

2021

Quality
Control

「和」でつなぐ人と社会

Compliance

Environment
Protection

FUJITRANS

目次 Contents

- 01 CSR方針
- 02 トップメッセージ
- 03 会社概要

法令遵守への思い

- 05 コンプライアンス強化月間
内部監査の実施
ストレスチェック制度の継続実施
弁護士相談の実施
健康セミナー・個別健康相談会

安全の追求・品質の向上

- 06 安全衛生管理体制
- 07 熱中症予防キャンペーン
「ゼロ災」キャンペーン
フォークリフト安全運転強化キャンペーン
- 08 酸素欠乏症防止キャンペーン
安否確認訓練
交通シミュレーター適性検査
安全・安心職場づくり報告会

環境への取り組み・地域社会とともに

- 09 足船での清掃活動
医療機関への寄付
ISO環境美化活動
児童福祉施設支援
交通安全街頭立ち会い

- 10 2020年度CSR活動実績

CSR方針

フジトランス コーポレーションは、「『和』の精神」を社是に掲げています。「和」とは、人の和を尊重し全社的な信頼と協調を基に一致団結する「内なる和」と、地球環境・地域社会・お客さま・協力会社との調和・協和・融和を基にした「外なる和」の二つから成り立っています。

その精神のもと、社員がお客さま・地域社会とともに成長していくという思いを込め、CSR方針を「『和』でつなぐ人と社会」と決めました。そして、私たちがCSRを実践すべき三つの活動領域を設定し、活動を推進しています。

企業として取り組むべき領域

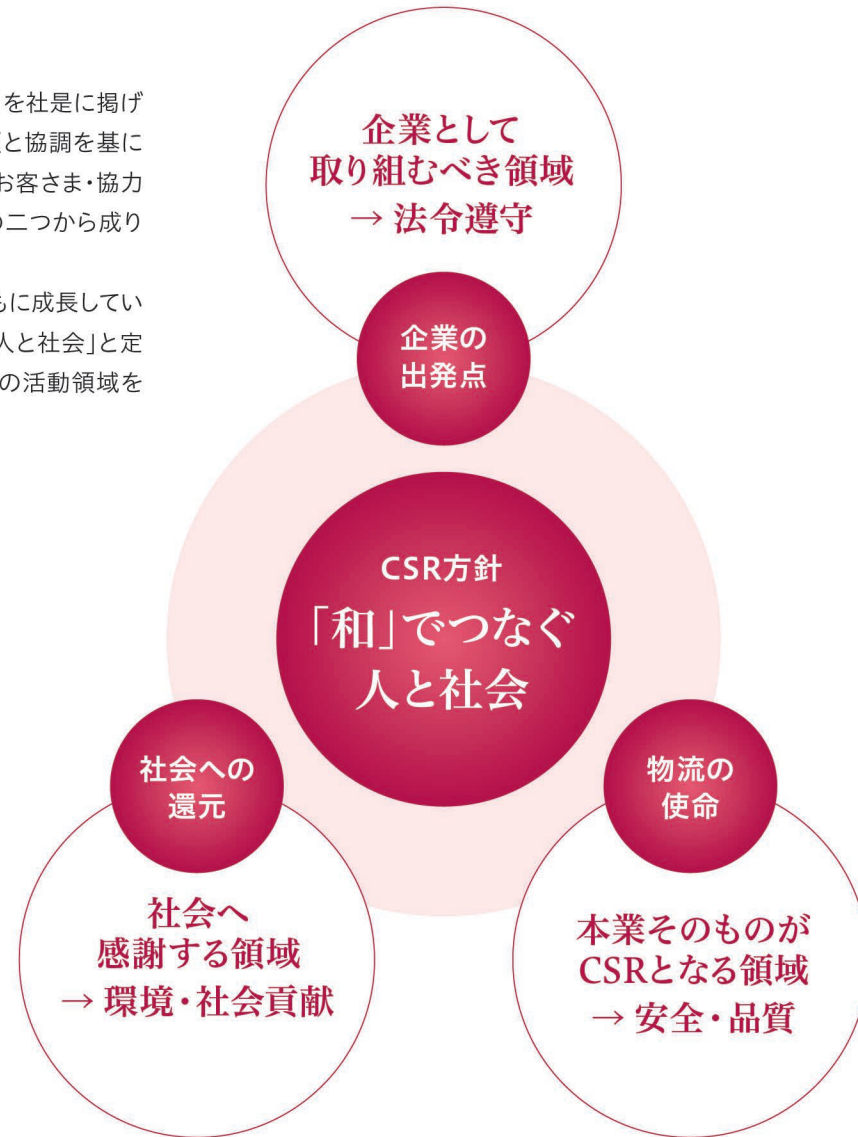
- 法令と社会規範を守り、常に誠実で公正な活動を行う。
- 企業は社会の一員であり、良き企業市民として成長・発展していく。

本業そのものがCSRとなる領域

- 物流事業者の使命として、安全で高品質なサービスの提供をする。

社会へ感謝する領域

- 地球環境に配慮し、快適な社会と地域づくりに貢献する。
- 社会から学んできたことに深く感謝し、社会の期待や希望に応えていく。



トップメッセージ

持続可能な社会の実現に向けて

代表取締役社長 系井辰夫



CSRの取り組み

当社は、創業当時から受け継いできた社是「『和』の精神」のもと、事業を通じて社会のニーズにお応えしてきました。以来今日まで、地域や業界の発展と共に事業を拡大し、成長してきました。

2010年には、企業が求められる社会的責任を明確に認識し、社内外に向けて発信するべく、CSRの社内浸透と企画・実施のための専任組織を立ち上げました。そして、社是を基盤としたCSR方針を「『和』でつなぐ人と社会」と決めました。当社がCSR活動で注力すべき分野を法令遵守、安全・品質、環境・社会貢献の3つとし、現地活動のための分会を組成して、これまで10年にわたり活動してきました。

社会の転換

一方、社会は新たなステージに移行しつつあります。環境破壊、貧富の格差の拡大、経済紛争の激化など、人類全体の前に横たわる途方もなく大きな問題を解決し、地球と人類の営みを遠い未来まで持続的に紡いでいくことを目的に「SDGs」(Sustainable Development Goals)という世界共通の概念が生まれ、2015年に国連で採択されました。日本でも「持続可能な開発目標」と訳され、新聞やテレビでも頻繁に目にするようになりました。これまで政府や投資家、大企業を中心に使われていた言葉ですが、徐々に私たちの生活にも浸透し始めています。資本主義の発展と共に経済優先だった社会の指向は転換点を迎え、今や経済を発展させながら社会全体が持続できる構造を目指して加速し始めています。

SDGsが掲げる目標の達成は容易ではないでしょう。しかし、世界をより良い方向に導くための動きに経済発展のさらなる可能性が重なり、諸問題を解決に導くさまざまなイノベーションが今後生まれることでしょう。目標達成年である2030年を迎える頃には、われわれの社会は今までと大きく異なっているかもしれません。

SDGsに向けた当社の方向性

こうした社会の潮流と軌を一にするため、当社は2021年4月にサステナビリティ推進室を新設しました。2030年という目標年と、その先に広がる未来のために当社が取り組むべき課題を認識し、社会課題の解決に取り組むのが目的です。

具体的な課題の一つがカーボンニュートラル、即ちCO2の排出を実質的にゼロにすることです。CO2をはじめ、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出抑制は、SDGs以前から叫ばれてきました。陸上輸送、航空輸送など、さまざまな輸送モードが利用される中、当社では主力である内航船による海上輸送で排出するCO2の量が、陸上輸送由来のそれと比べて単位重量当たりで削減できることから、環境負荷の低い物流の推進に貢献してきました。

しかし、モーダルシフト、つまり環境負荷の高い輸送モードから低いモードに切り替えましようという動きから、これまで比較的環境にやさしいとされていた船舶が排出するCO2も大幅に削減する方向に舵が切られました。業界内では、LNGを燃料とする新しい船型の開発が進められています。さらに、よりCO2排出量の少ない新燃料とそれに対応する船舶の研究開発が始まっています。

現在7隻の内航船を運航する当社も、経済合理性と環境負荷低減を両立させるべく、船隊整備を計画しています。

持続可能な社会づくりのために

環境問題の解決だけがSDGsの目的ではありません。当社で働く社員がやりがいを持って業務に注力し、充実した生活を送れるようにすることも企業の義務であり、SDGsが目指す世界の実現につながります。また、これまで行ってきたCSR活動も継続し、企業としての責任を全うしていくことは言うまでもありません。

より良い社会の構築に貢献し、ステークホルダーの皆さまにとってなくてはならない存在であり続けるために、私たちはこれからも努力していきます。

会社概要

Company Profile

当社は1952年に名古屋市港区で創業した総合物流企業です。港湾運送事業・内航海運業を中心に海上・陸上・航空輸送、保管・在庫管理、梱包、通関など物流に関わるあらゆる事業を展開しています。特徴は、内航船舶を運航する船社としての側面を持っている点です。

設立当初は、木材の荷役を中心とする港湾運送会社でした。1960年代、モータリゼーションによる物流需要の増大を的確に捉え、1962年に我が国初の自動車専用RO/RO船「東朝丸(とうちょうまる)」を就航させることで内航海運業に進出。完成車の国内輸送分野で成長し、現在の基盤を確固たるものになりました。今日、北海道から沖縄まで国内約20拠点を有し、海陸一貫で車輻・一般貨物輸送を行っています。

一方、輸出入の取り扱い範囲とサービスの拡大のため、積極的に海外展開に取り組んでいます。1977年、シンガポールで駐在員事務所を立ち上げたことから始まり、フォワーディング業務、船舶代理店業、倉庫業、梱包事業、陸上輸送などに業容を拡大しました。今では北米、欧州、東・東南アジアで物流サービスを展開しています。

これらのネットワークを駆使して、完成車(乗用車、農機、建機など)や自動車部品を中心に、農産品、衣料品、化学品、非鉄金属、木材チップなど、さまざまな貨物を取り扱っています。また、長大貨物の輸送にも精通しており、宇宙関連機器や航空機部材、プラントなど豊富な輸送実績があります。

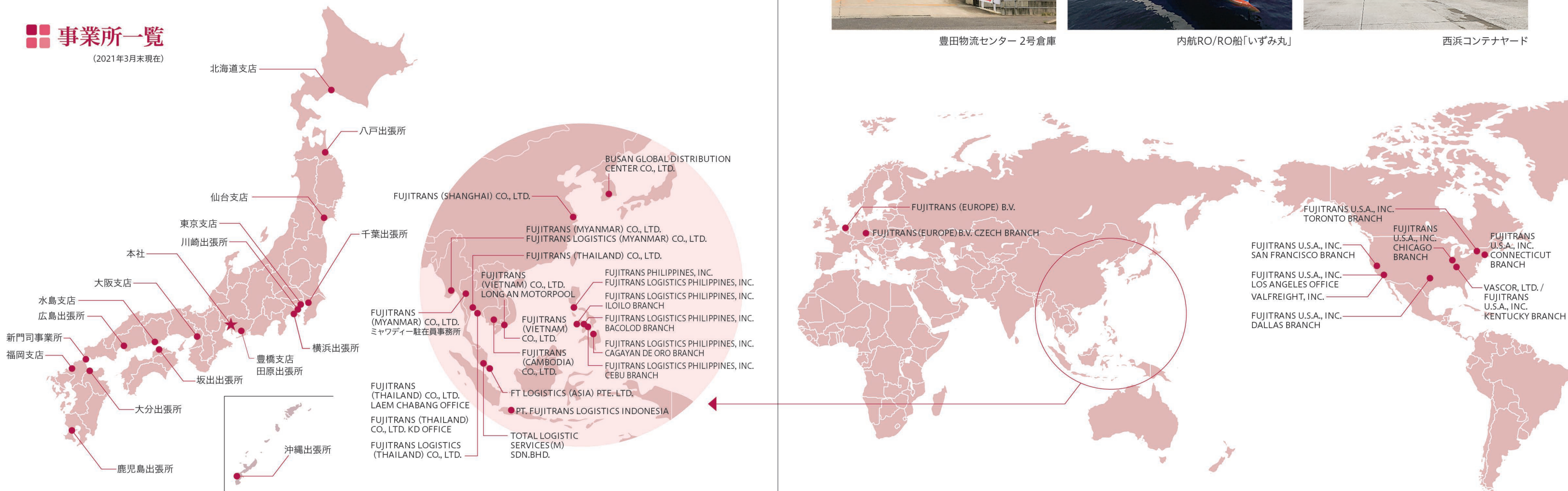
名称	株式会社フジトランス コーポレーション
本社所在地	〒455-0032 名古屋市港区入船一丁目7番41号
設立年月日	1952(昭和27)年9月29日
資本金	2億円
代表者	代表取締役社長 系井 辰夫
従業員数	1,453人(2021年3月末現在)

主たる営業種目

- 港湾運送事業
- 内航海運業
- 貨物利用運送事業
- 航空運送代理店業
- 通関業
- 倉庫業
- 梱包事業
- 海上運送業 他

事業所一覧

(2021年3月末現在)



事業ハイライト (2020年度)

2020年5月

豊田物流センター2号倉庫 竣工

愛知県豊田市の豊田物流センターを拡張し、2号倉庫を竣工しました。

2020年8月

いずみ丸 内航船省エネルギー格付制度認定

当社が運航する内航RO/RO船「いずみ丸」が、内航船省エネルギー格付制度の認定を受けました。この制度は、国土交通省が内航海運のCO²排出削減目標達成に向け、船舶の省エネCO²技術の性能を「見える化」する目的で2020年3月より運用開始した評価制度です。「いずみ丸」は、この評価制度で最高の星5つを獲得しました。

2020年11月

西浜コンテナヤード 整備完了

コンテナデポ拠点「西浜コンテナヤード」の事務所・ヤードの整備が完了しました。



豊田物流センター 2号倉庫



内航RO/RO船「いずみ丸」



西浜コンテナヤード

法令遵守への思い

コンプライアンスはCSRの基本であり、公正な企業活動のよりどころとなるものです。当社はコンプライアンス体制の確立と維持を目的として各種勉強会や意識調査を行い、強化月間を設けるなど、全社員への啓発活動を推進しています。

Compliance

経営基盤の強化

Compliance

2020/9/1(火)~10/31(土)

コンプライアンス強化月間

各自で学んで法令知識を再確認

一人ひとりが日頃の行動を見つめ直す機会として「コンプライアンス強化月間」を、毎年9月・10月に行っています。期間中は意識を高めるため、各事業所に啓発用の冊子を配付しました。冊子は「動念」と「ハラスメント」についての注意点を網羅し、社員は冊子を読んで正しい知識を再認識しました。

年間

内部監査の実施

会計・業務監査で内部統制を強化

内部監査室は、内部統制が有効に機能しているかどうかをチェックするために、組織から独立した立場で監査を実施しています。今年度は本社地区5部門、支店・出張所3部門、国内・海外関連会社6社を監査しました。結果は全て経営者に報告し、監査後もフォローアップする体制を整えています。

誠実な事業活動のために

Compliance

2020/9/1(火)

ストレスチェック制度の継続実施

メンタルヘルスの不調を未然に防止

社会的関心が高まっている心の健康管理について積極的に取り組んでいます。2016年度からは、社員自身がストレスの程度を把握し、メンタルヘルスが不調になることを未然に防止することを目的として、毎年9月にストレスチェックを実施しています。2020年度は全体の88%が受検し、ストレスへの対処(セルフケア)のきっかけとなる結果表を受け取りました。今後も適正な制度運用を行い、ストレスとうまく向き合いながら働ける職場づくりを目指します。

毎月実施

弁護士相談の実施

専門家がコンプライアンスをフォロー

本社で月1回、法律事務所の弁護士を招いて、法律相談会を実施しています。相談会では、法令の解釈や法的リスクの早期発見、コンプライアンス体制に関するアドバイスを行っています。仕事でのさまざまなトラブルや悩み事だけでなく、社員のプライベートな案件も受け付けています。

毎月実施

健康セミナー・個別健康相談会

社員の健康づくりをサポート

労働安全衛生法に基づき社員の健康を守ることは、企業の社会的責任の一つです。当社は2006年から、「健康教育の日」と称して外部から保健師を招き、「健康セミナー・個別健康相談会」を毎月実施しています。健康セミナーは「心身両面にわたる健康づくり」をテーマにしています。



●実績

- 4月 『社会人のための健康管理～元気に楽しく働くために～』 参加人数/28人
新入社員を対象に、健康管理に関する基礎的な知識の説明や、エゴグラムによる性格診断テストを実施しました。また、健康診断の結果の見方を一覧にした健康診断結果ガイドを配付しました。
- 6~9月 『アルコールが及ぼす身体への影響について』 参加人数/38人
- 10~12月 『もうイライラに振り回されない～アンガーマネジメント入門』 参加人数/43名

●個別健康相談会

参加人数/107人(2021年2月現在)
定期健康診断などで医師の所見があった人や長時間労働者を対象に健康指導を実施しました。昨年度は相談会の回数を増やし、より多くの社員に健康指導を実施しました。

安全の追求・品質の向上

当社は安全な物流サービスをお客さまに提供するため、日々、安全教育や訓練、現場巡視による点検などの努力を欠かしません。そして、安全衛生管理体制や危機管理体制の充実を図り、大切な貨物はもちろん、社員一人ひとりの安全に最善を尽くしています。

Quality Control

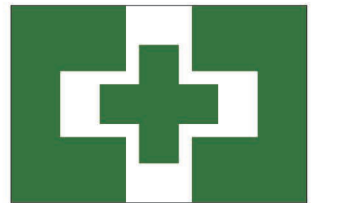
Safety Management

安全衛生管理体制

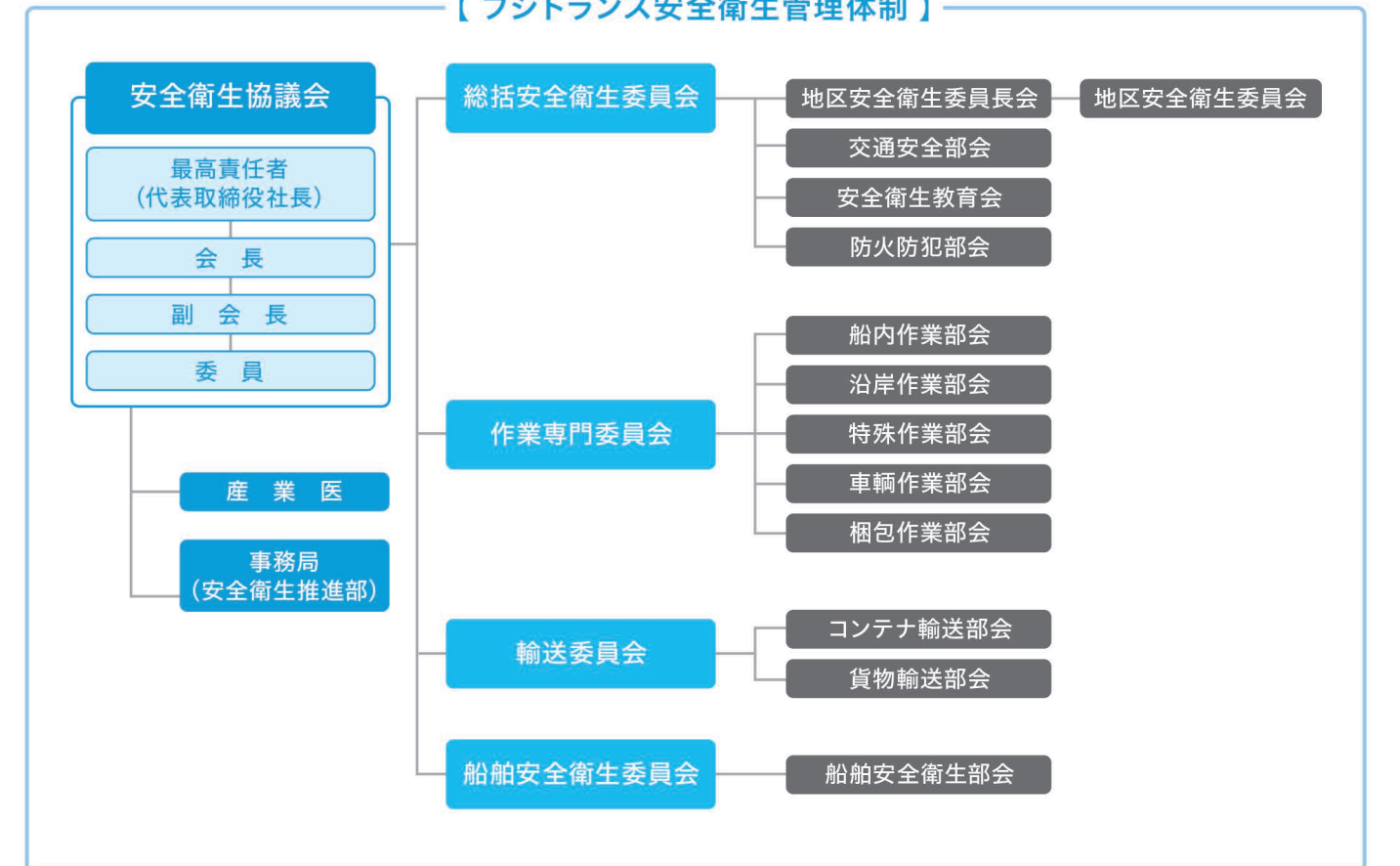
Safety Management & Quality Control

万全な管理体制を構築

安全は、総合物流企業としての重大な使命です。安全の徹底は、お客さまからの信頼につながり、事業全体の品質を高めることにも通じます。当社では「安全」と「品質」は一体と考え、安全衛生協議会を頂点とした強固な管理体制を構築し、徹底した安全管理に取り組んでいます。



【フジトランス安全衛生管理体制】



各種安全キャンペーン

Safety Management & Quality Control

2020/5/1(金)～9/30(水)

熱中症予防キャンペーン

水分・塩分補給で熱中症対策

当社は、2020年5月1日から5ヵ月間、「熱中症予防キャンペーン」を実施しました。熱中症は、高温多湿な環境の中で作業をすることにより、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、熱が体にこもった状態のことです。社員全員が熱中症予防の正しい知識を持ち、体調の変化に気を付け周囲の人にも気を配り予防に努めること

を目的に実施しました。期間中は、社員の健康状態の確認を行い、水分・塩分の摂取を促すなど働きやすい職場づくりに取り組みました。また、キャンペーンポスターを各事業所に掲示し、健康意識の向上に努めました。

上期：2020/7/1(水)～7/10(金)
下期：2020/12/2(水)～12/11(金)

「ゼロ災」キャンペーン

全ての事故「ゼロ」を目指して

フジトランスグループでは年2回、全国の事業所を対象に「『ゼロ災』キャンペーン」を開催しています。社員一人ひとりの安全意識を高め、安全で安心な職場をつくることを目的とした活動です。新型コロナウイルスの影響で諸活動の人員制限を図りましたが、期間中は「全ての事故ゼロ」を目標に掲げ、経営トップ層による現場点検をはじめ、各専門委員会によるパトロールを実施し、グループ一丸となって「全ての事故ゼロ」に取り組みました。



発会式での「ゼロ災」唱和

スローガン 上期 結束し みんなでつくろう ゼロ災職場 下期 高めよう 一人ひとりの安全意識

2020/9/9(水)～9/18(金)

フォークリフト安全運転強化キャンペーン

安全作業の運転技術を競う

当社グループの作業専門委員会が「フォークリフト安全運転強化キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、事故対策の徹底と教育・訓練による事故の再発防止を目的に、毎年行っています。

期間中、キャンペーンの一環として、フォークリフト技能競技会を開催しました。お客さまからお預かりした貨物を傷つけないことなく取り扱う技術と、安全運転への意識を確認する取り組みです。

競技会では、グループ会社を含む全国の事業所から選出された代表者が出場し、設定されたコースでケース積走行やバックランク走行を行い、日頃の作業で磨いた手順、正確性、所要時間を競い合いました。



フォークリフト技能競技会の受賞者

2020/10/14(水)～10/23(金)

酸素欠乏症防止キャンペーン

正しい知識と訓練で再発防止

木材チップ専用船での荷役事故対策の徹底と事故の再発防止を目的に、酸素欠乏症防止キャンペーンを実施しました。活動の一環として「酸素欠乏症救助訓練」を実施し、木材チップ専用船の船内で、チップを掻き出す作業者が酸素欠乏症で倒れたという想定のもと、作業監督者による被災者の発見から救出、心肺蘇生、救急車への搬送まで、救助の流れや役割を確認しました。



被災者(マネキン)を迅速に救急車へ搬送

安全教育・訓練

Safety Management & Quality Control

2021/3/11(木)

安否確認訓練

万が一に備えて連絡体制を確認

東日本大震災から10年が経過した3月11日に、国内対策部会がフジトランスグループ全社員を対象とした安否確認訓練を実施しました。この訓練は、大規模災害が発生した場合に、社員の安否を速やかに確認するためのものです。

訓練は、事前に社員へ知らせず、抜き打ちで行いましたが、メール送信後3時間で、ほぼ全ての社員から応答があり、迅速な連絡体制を確認できました。



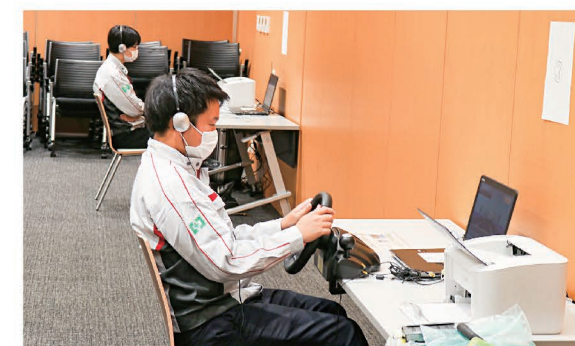
安否状況を確認する国内対策部会のメンバー

2020/11/17(火)

交通シミュレーター適性検査

安全な運転技術を身に付ける

交通事故の撲滅のため、交通安全部会が新たに企画した「交通シミュレーター適性検査」を実施しました。この適性検査は、運転者の運転特性に応じたリスクを発見し、より安全な運転方法や技術を身に付けることができます。今回は各部門、関連会社から40人が参加しました。



シミュレーターを体験する社員

2021/02/17(水)

安全・安心職場づくり報告会

より安全な職場を目指して

安全で災害の無い快適な職場の形成を目的に、毎年「安全・安心職場づくり報告会」を実施しています。この報告会は、職場に潜むリスクを解消し、より安全に業務を遂行するために各事業所が取り組んできた成果を発表し、全社で共有するものです。今年度は、新型コロナウイルスの感染対策として参加者を絞り、取り組みについて発表を行いました。

環境への取り組み・地域社会とともに

当社を育てていただいた社会・地域、そこに住む人々に貢献することは、当社のCSRの根源です。環境方針を策定して社員の意識を高め、当社にとって事業を支える大切なフィールドである港や海で、地球環境に配慮した活動を行っています。

Environment Protection

Social Action

環境保全活動

2020/8/24(月)

足船での清掃活動

自社船舶で海上清掃

社会貢献活動の一環として、足船清掃活動を行いました。
自社船舶「ふじとらんす」(通称:足船)に乗って、九号地分室の岸壁付近で海上に浮かんでいるゴミを、タモ網を使って拾い集めました。多くのゴミを回収することができ、私たちが働く名古屋港をきれいにすることができました。



清掃活動の参加者

社会貢献活動

2020/4/23(木)

医療機関への寄付

新型コロナウイルス対応に貢献

新型コロナウイルスの影響による医療機関での深刻なマスク不足を受け、当社は名古屋第二赤十字病院(八事日赤)へ医療用マスクと寄付金を贈呈しました。新型コロナウイルス対応の最前線である医療機関に物資の支援や寄付を行うことで、医療従事者への一助となりました。

2020/9/23(水)、11/26(木)

ISO環境美化活動

本社地区周辺をきれいに

本社地区の各部代表者がISO環境美化活動の一環で、本社地区周辺の清掃活動を行いました。また、ごみを回収した後、江川線沿いに生えている雑草を抜いて景観向上にも力を入れました。



たくさんのごみや雑草を集めました

2020/12/10(木)~26日(土)

児童福祉施設支援

施設へクリスマスケーキを贈呈

地域社会との交流活動として、児童福祉施設にクリスマスケーキの贈呈を行っています。今年は合計6カ所の施設にクリスマスケーキやパンなどを贈呈し、施設のクリスマス会に役立てていただきました。

また、新型コロナウイルス感染予防のため、施設へマスクやハンドジェルも併せて贈りました。

毎月

交通安全街頭立ち会い

交通事故ゼロを目指して

交通安全部会が主体となって、本社地区、築地口地区、九号地地区、金城地区の交差点で、朝の通勤時間に合わせて交通街頭立ち会いを行いました。グループ会社を含む各部の代表者が参加し、シートベルトの着用や交差点での一旦停止など、交通ルールの徹底を呼びかけました。

街頭立ち会いは、交通事故ゼロの日(0が付く日)に合わせて毎月実施しています。

2020年度CSR活動実績

法令遵守分会

- コンプライアンス強化月間
- 内部監査の実施
- ストレスチェック制度の継続実施
- 弁護士相談の実施
- 健康セミナー・個別健康相談会

安全・品質分会

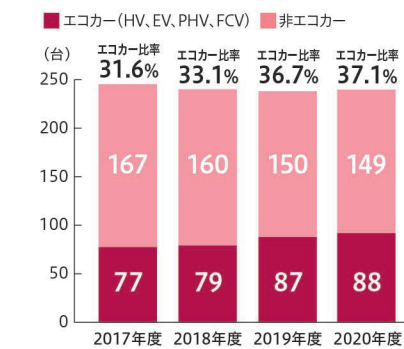
- 熱中症予防キャンペーン
- 「ゼロ災」キャンペーン
- フォークリフト安全運転強化キャンペーン
- 酸素欠乏症防止キャンペーン
- 安否確認訓練
- 交通シミュレーター適性検査
- 安全・安心職場づくり報告会

環境・社会貢献分会

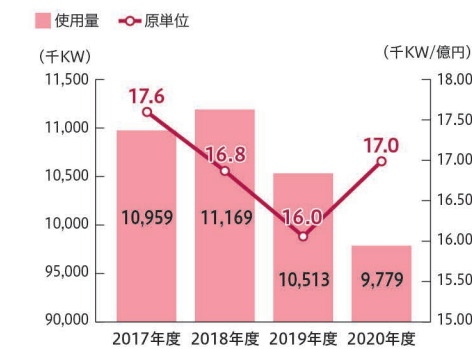
- 足船での清掃活動
- 医療機関への寄付
- ISO環境美化活動
- 児童福祉施設支援
- 交通安全街頭立ち会い

省エネ活動

●社用車に占めるエコカー比率の推移



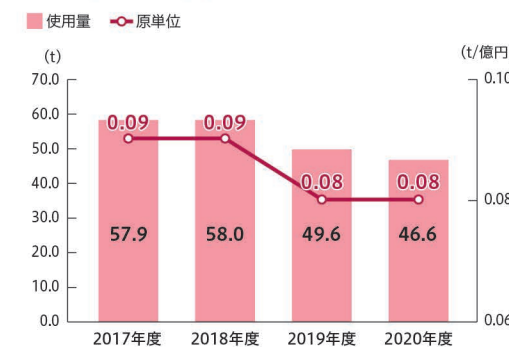
●電気使用量の推移



●ガソリン・灯油・軽油使用量の推移



●LPG使用量の推移



●A・C重油使用量の推移



ホームページにCSR活動に関する情報を掲載しています。▶ www.fujitrans.co.jp/csr/